

第4回産業競争力会議資料

新規・成長企業へのリスクマネーの供給について

平成25年3月15日

金融担当大臣 麻生 太郎

産業の新陳代謝の促進

(民間議員からの御提案)

◆ 新たな産業(事業)の創出と既存産業の更なる成長 新規参入や新事業が次々と生まれる環境づくりに注力

起業促進のためのインセンティブと仕組みづくり

- ・クラウドファンディングなどのリスクマネー供給の拡充策

(考え方)

技術やアイデアを事業化する段階では、リスクマネー供給が不十分なことも一因となって、事業を軌道に乗せられない、いわゆる「死の谷」と呼ばれる問題が存在。

新規・成長企業へのリスクマネー供給のための仲介機能を強化し、産業に新たな血が入るよう支援していくため、金融面から以下について検討していきたい。

- ・クラウドファンディング
- ・地域における資本調達を促す仕組み
- ・新規上場のための負担の軽減

(参考)新規・成長企業へのリスクマネーの供給について

事業化

上場前

上場後

「死の谷」問題

研究・技術開発が資金調達の問題等から事業化できず

新規上場のための負担の軽減

研究・技術開発

クラウド・ファンディング※

ベンチャー・キャピタル
[約1,240億円](注1)

取引所市場
[3,545社](注2)

エンジェル
(注4)

グリーンシート
[38銘柄](注3)

地域における資本調達の枠組み

※ クラウド・ファンディングとは、新規・成長企業と投資家をインターネット上で結びつけ、多数の投資家から少額ずつ資金を集める仕組み。

米国では、新規・成長企業のリスクマネー供給策の一環として、昨年4月に成立したJOBS法(未施行)において法制化された。

(注1)ベンチャー・キャピタル年間投融資額(2012年度)。米国は約2.3兆円(2011年)。

(注2)全国上場会社数(2012年末)。米国はNYSE(US)2,339社、NASDAQ2,577社(2012年末)。

(注3)グリーンシート銘柄数(2012年末)。米国におけるピンクシート登録銘柄数は10,121銘柄(2012年10月末)。

(注4)エンジェル税制を利用した個人投資家の投資額は、約9.9億円(2011年度)。なお、米国におけるエンジェルの年間投資額は、1.5兆円程度といわれている。